【学校教育目標】
郷土に根ざした
健全な児童の育成
【めざす学校像】
みんなの笑顔があふれる周布
小学校 ～スマイル・フル～
【めざす子ども像】
学ぶ子　育つ子　進む子

周布小だより

浜田市立周布小学校
浜田市周布町イ63-3
電話　0855-27-1006
FAX　0855-27-4724

令和７年１０月号　文責：大達高弘

令和７年度　周布小学校運動会

全校スマイル
みんなでチャンスをつかみとれ！

９月２７日（土）、たくさんの保護者・地域の皆様方の温かいご声援に包まれた運動会が終了しました。今年度は、夏の暑さを考慮し、９月末の開催でした。

２学期が始まってから、全校児童２３６人と教職員みんなで、この運動会に向かって走り続けてきました。全校児童の思いの詰まった素晴らしいスローガンのもと、子どもたちと教職員が一丸となって創りあげた運動会でした。当日は、たくさんの皆様にご来場いただき、周布っ子の輝く姿をご覧いただけたことが、何よりも嬉しいことでした。感謝申しあげます。ありがとうございました。

運動会の開会式の挨拶の中でも話しましたが、私は今年度の運動会スローガンの中の【全校スマイル】という言葉がとても気に入っていました。運動会はどの色も優勝を目指して戦います。ですから、必ず勝ち負けがつきます。そういう勝負事の行事においても、今年度の周布小学校の合言葉【スマイル・フル】の実現を目指して、運動会運営委員の６年生が、【全校スマイル】という言葉を掲げてくれたことが、ほんとに嬉しかったです。

運動会当日、周布小学校の校庭には、子どもたちの元気が溢れ、スマイル：笑顔の花が咲き誇りました。誰もが一生懸命で、本気の姿を見せてくれました。他の学年の競技にも、心からの声援と拍手を贈り合っていました。教職員も、子どもたちと一緒になって、最高の運動会を創ろうと力を尽くしていました。私には、あの日、あの場にいたすべての人が輝いて見えました。

運動会後の児童の感想より

〇団結賞がうれしかった。みんなでおどれたよ。走るのがにがてだったけどがんばって走ったよ。リレーで次の人にバトンをつなげられてよかった。
〇リレーの時にみんなが応援してくれたからがんばれました。
〇自分の色の応援でむずかしいところがあったけど楽しかったです。運動会は楽しい気持ちでやることの大切さがわかりました。来年もがんばりたいです。
〇リレーの時にこけたけど、すぐに立ち上がりました。応援合戦で、みんな大きな声を出していました。
〇優勝ができたチームはハッピーだけど、負けたチームも最後まで笑って本気でやっていたからこその涙を流していました。本気じゃなかったら出ない涙です。来年も笑顔でがんばりたいです。
〇練習で一生懸命取り組んだり、みんなで協力して準備をしてきたりしたから、本気の力が出せました。日頃の練習をこつこつとがんばったから、全校が笑顔で終われたんだと思います。
〇スマイルに本気、競技に本気、点数に本気、勝っても負けても本気。いい運動会だった。

全校スマイルの最高の運動会になりました。

写真で振り返る運動会

運動会スローガンと各色デコレーション

６年生にとっては小学校生活最後の運動会。最高の運動会にしてくれたのは、間違いなく周布小学校自慢の３６人の６年生でした。６年生、本当にありがとう！

周布小学校のいろいろな秋

【芸術の秋】

１０月１日（水）、３・４年生がスケッチ会に出かけました。校区内にある株式会社ライト様にお世話になり、普段、間近で見ることができない大きな重機をご準備いただき、たくさんある重機の中から、「これだ！」と思うものを一つ選んで描きました。重機の形やつくりを細部までじっくり観察しながら真剣に作品作りに向かう姿には、創作意欲と高い集中力が感じられました。

【読書の秋】

ボランティアの皆様に毎月お世話になっている読み聞かせが、１０月２日（木）・１６日（木）にありました。子どもたちは、この読み聞かせの時間をとても楽しみにしています。特に低学年は、目をキラキラさせながら、笑顔いっぱいにお話を聞いています。こういう素敵な時間が子どもたちの感性、そして豊かな心を育んでいくのだと思います。

朝の忙しい中、ボランティアで来てくださっている皆様に、どんな思いで読み聞かせをされているのか尋ねてみました。すると、「本を好きになるきっかけになってくれるとうれしい」「耳から聴くリズムの心地よさで、気持ちが安定してくれるといいな」「子どもと接することがうれしいし、こちらが元気をもらえる」とのこと。

ボランティアの皆様のこうした思いに支えられながら、周布っ子がいつも以上に読書に親しみ、読書の秋をしっかり楽しんでほしいと思っています。

【スポーツの秋】

第２０回浜田市小学校体操競技大会

１０月１５日（水）、今年度が最後の開催となる第２０回浜田市小学校体操競技大会が開催されました。周布小学校からは、５・６年生児童の代表２０名が選手として出場しました。

選手一人一人は、この日の大会に向け、自分なりの目標をしっかりともち、一生懸命に練習に取り組んできました。その姿からは、いつも子どもたちに大切にしてほしいと話している【挑戦】【本気】の気持ちが伝わってきました。

大会ではそれぞれが自分のもてる力を存分に発揮しました。中には、思うような結果が出なかった子どももいたようですが、それも貴重な経験です。大切なことは、本気で練習し続けたという過程なのです。

一人一人の本気が輝いた、素晴らしい大会でした。

彼岸花が教えてくれた

見ようとすれば見える

右の写真は、学校正門横の花壇に咲いた彼岸花です。私がこの彼岸花の存在に気がついたのは１０月２日の朝でした。強烈な赤色で、自分の存在を私に知らせてくれました。

背丈でいえば５０～６０ｃｍはあるのですが、私は、花が完全に開いたこの日の朝まで、彼岸花の存在に全く気付いていませんでした。

朝夕、花壇のすぐ横を車で通りますし、朝のごみ拾いの際には、この花壇の横を歩いていましたので、確実に私の視界には入っていたはずです。にもかかわらず、私は彼岸花の存在に気がつかなかった。なぜなのか。それはきっと、私自身がこの彼岸花を見ようとしていなかったからだと思うのです。毎日目に映る景色を当たり前のものとして、その中にあるかもしれない小さな変化に気づこうとしなかったからだと思うのです。もし私が注意深く見ていたとしたら、きっと彼岸花の存在、成長ぶり、そして変化に気づいていたでしょう。私は、鮮やかな赤色の花をきれいに咲かせた彼岸花から、「見ようとしなければ見えない。でも、見ようとすれば見える。」「同じように見えるものの中にも小さな変化がある」ということを教えられたような気がしました。

子どもたちは日々成長しています。たとえ一日の成長はごくわずかなものだとしても、学校で学び、友達とかかわり、家庭や地域で様々な経験をしながら、必ず昨日よりも成長しているはずです。そして、そうした日々の小さな成長を積み重ねながら、ある時、大きくて見事な花を咲かせます。それが何かの行事の時であったり、発表の場であったり、あるいはふとした瞬間であったり…。私たち大人は、子どもがその花を咲かせた時に、子どもの成長を実感することがよくあるのですが、普段の小さな成長にはなかなか気づきません。でも、もし目を凝らし、温かい眼差しで見ようとすれば、たとえわずかで小さな成長であっても、きっと見えるはずなんです。あまりに近過ぎて、かえって見えにくい、気づきにくいかもしれませんが、子どもたちの日々の小さな変化や成長を見つけることができる、気づくことができる、そういう大人でありたいなあと思います。秋の訪れを感じさせたくれた彼岸花は、季節の変化だけではなく、大切なことを私に教えてくれました。

１１月の主な行事

４日（火）ＳＣ来校　プール学習（低学年）
５日（水）遠足（１年）　委員会　学校運営協議会
６日（木）連合音楽祭（５年生参加）
７日（金）遠足（２年生）
１１日（火）プール学習（高学年）
１２日（水）西部合同学習（すくすく・のびのび・にこにこ）
１３日（木）読み聞かせ　プール学習（高学年）　就学時健診（PM）
１４日（金）学習公開日・ふれあい講演会
１７日（月）安全の日　マラソン記録会（～２１日）
１８日（火）ＳＣ来校　三中新入生交流会（６年生）
１９日（水）栄養指導（４年生）　餅つき（５年生）
２０日（木）プール学習（高学年）
２５日（火）ＳＣ来校
２６日（水）ミュージアムスクール（２－１）　委員会
２７日（木）読み聞かせ　地産地消学習（４年）　美川小との交流会（６年生）
２８日（金）ミュージアムスクール（２－２）

★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。